

— 2022. 4. 16 —

月刊アンモナイト通信

Monthly Ammonite Center Letters



— Vol. 4, no. 4 —



今月のイチオシ化石紹介

(A) *Hyphantoceras* cf. *flexuosum*

(B) *Yezoceras elegans*

いわき市アンモナイトセンターには白亜紀後期 Coniacian の地層が露出しており，双葉層群足沢層の大久川部層に相当すると考えられる (久保ほか, 2002). 上記二点の化石は体験発掘の際に発見され，(A)が *Scalarites* sp., (B)が *Hyphantoceras* sp.として展示されていた. しかし詳細に検討した結果，それぞれ *Hyphantoceras* cf. *flexuosum* 及び *Yezoceras elegans* である事が判明した. 両種とも双葉層群からは初めての発見であり，加えて *Hyphantoceras flexuosum* の近似種としては日本初，そして *Yezoceras* 属としては本州初の産出である (村宮ほか, 2022).

Hyphantoceras flexuosum はヨーロッパの Turonian 後期～Coniacian 前期からしか知られておらず (Kennedy, 2020), 今回の発見によって前期～中期 Coniacian の北西太平洋域に生息していた事が明らかとなった. *Yezoceras elegans* は Aiba et al. (2021)によって新種記載がなされ，双葉層群よりも新しい北海道の上部 Coniacian 蝦夷層群からのみ産出が知られていた. 今回双葉層群から化石が産出した事で，同種がより古い時代 (少なくとも中期 Coniacian)から地理的にも広く生息していた事が判明した (表 1). 今回の両種の発見は白亜紀の古生物地理を解明する手掛かりとして重要である.

村宮ほか (2022)は，この他にも大久川部層基底部の礫岩から産出した標本を基に記載された *Yabeiceras orientale* 及び *Eubostrychoceras indopacificum* の産出を報告しており (写真 1), アンモナイトセンターに露出する足沢層から産出する大型化石の多様性が高い事から，今後詳細な生息年代の決定を行える可能性を示唆している.

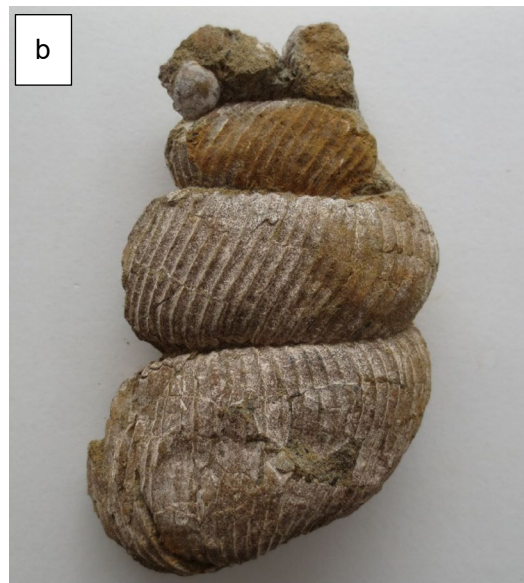


写真 1. a) *Yabeiceras* cf. *manasoense*; 今回報告されたものとは別種の *Yabeiceras* 属アンモナイト. b) *Eubostrychoceras indopacificum*; 今回報告された化石.

表 1. 双葉層群足沢層から産出するアンモノイド類の世界的な産出年代.

	Late Cretaceous										
	Cenomanian		Turonian		Coniacian		Santonian	Campanian	Maastrichtian		
	early	middle	late	early	middle	late	early	late	early	late	
<i>Phylloceras (Neophylloceras) subramosum</i>											
<i>Anagaudryceras limatum</i>											
<i>Gaudryceras denseplicatum</i>											
<i>Mesopuzosia yubarensis</i>											
<i>Pachydesmoceras cf. mihoense</i>											
<i>Damesites</i> sp.											
<i>Yokoyamaoceras</i> sp.											
<i>Prionocycloceras</i> sp.											
<i>Forresteria alluaudi</i>											
<i>Yabeiceras orientale</i>											
<i>Yabeiceras manasoense</i>											
<i>Peroniceras</i> sp.											
<i>Eubostrychoceras indicum</i>											
<i>Yezoceras elegans</i>											
<i>Nipponites</i> sp.											
<i>Hyphantoceras cf. flexuosum</i>											
<i>Scalarites</i> sp.											
<i>Neocrioceras</i> sp.											
<i>Polyptychoceras</i> sp.											
<i>Baculites yokoyamai</i>											
<i>Baculites schencki</i>											
<i>Yezoites puerculus</i>											
<i>Yezoites perrini</i>											
<i>Scaphites pseudoequalis</i>											

(参考文献)

Aiba, D., Karasawa, T. and Iwasaki, T., 2021. A new species of *Yezoceras* (Ammonoidea, Nostoceratidae) from the Coniacian in the northwestern Pacific realm. *Paleontological Research*, 25 (1): 1-10.

Kennedy, W. J., 2020. The Ammonoidea of the Upper Chalk, Part 2. *Monographs of the Palaeontological Society*, 174 (656): 106-290.

久保和也・柳沢幸夫・利光誠一・坂野靖行・兼子尚知・吉岡敏和・高木哲一, 2002. 川前及び井出地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, pp.136.

村宮悠介・猪瀬弘瑛・歌川史哲・相場大佑・安藤寿男・大森光, 2022. 上部白亜系双葉層群足沢層から産出したコニアシアンのアムモノイド. 日本古生物学会第 171 回例会講演予稿集, P21.

3月の行事報告

- ・体験発掘
開催回数：0回
- ・特別体験発掘
開催回数：0回

開館からの総入館者数 (3/31 時点)

490,851 人

50万人まで あと 9,149 人

4月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜日・日曜日, 4月29日: 10時~11時30分, 13時30分~15時但し、雨天中止) 現在、体験発掘は一時中止とさせていただきます。4月23日より上限100人で再開します。
- ・大型連休中の体験発掘について
上記期間中は体験発掘を参加上限100人で一日3回実施致します。期間中の体験発掘実施日は4月29, 30日及び5月3~5, 7~8日となります。5月2日は休館日, 5月6日は開館しますが体験発掘非実施日となりますのでご注意ください。

お知らせ

- ・4月23日~6月26日まで会津若松市の福島県立博物館に於いて春の企画展「アンモナイト合戦~アンモナイト VS 同時代の生き物たち~」が開催されます。上記 *Hyphantoceras cf. flexuosum* や *Yezoceras elegans* のほか、双葉層群では未だ公式の産出報告のない *Prionocycloceras sp.* など多数の双葉層群産アンモナイト化石が展示されますので、皆様この機会を利用して是非一度ご覧になってください。
- ・いわき市アンモナイトセンターWeb サイトが刷新されました。アドレスは以前と同様ですが、(公財)いわき市教育文化事業団の他施設と共通デザインとなりました。

お知らせ (重要!)

Notice!! Notice!!

体験発掘に参加される際は運動靴または長靴の着用をお願い致します。サンダル(クロックス含む) や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。
皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援して下さるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



いわき市アンモナイトセンター (Iwaki City Ammonite Center)

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp